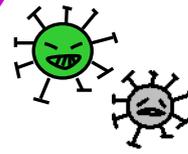


感染症に気をつけよう!

2015年【11月号】



横浜市内の感染症 流行状況

| 感染症 | 流行状況 | | 説明 |
|-----------|------|------|---|
| RSウイルス感染症 | 大流行 | 急増 | 今後も増加が予想されます。重症化する例や、繰り返しかかる場合もあります。 手洗いで予防 しましょう。【2015.10号】 |
| インフルエンザ | 散発 | やや増加 | 10月下旬には学級閉鎖が報告されています。 予防接種 や手洗い、十分な休養などで、流行に備えましょう。【2014.11号】 |

【 】は解説付き既刊号 ← クリック

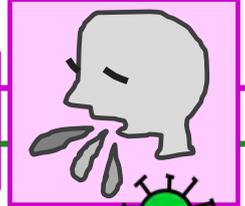
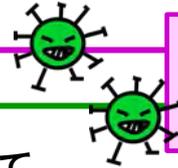
今、気をつけたい感染症 ノロウイルスによる感染性胃腸炎

どんな病気?

感染性胃腸炎はノロウイルスなどの感染が原因で、主な症状は下痢・腹痛・吐き気・嘔吐等です。例年、冬に流行します。

今シーズンは新しい種類のノロウイルス(遺伝子型 GII.17 の変異型)によって、大きな流行が起こると予想されており、国が全国的に注意を呼びかけています。

市内でも同様の恐れがあり、注意が必要です。



感染のしかたは?

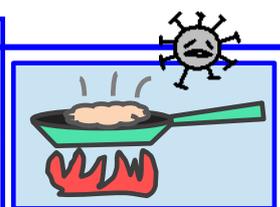
ノロウイルスは患者の便や吐いた物に含まれていて、手や食物を介して、わずかな量のウイルスが体内に入っただけで感染します。

症状が出て回復した後や、感染しても症状が出なかったケース(不顕性感染)でも、便の中にウイルスが排出されていて、感染が広がる場合があります。

保育園や高齢者施設での集団発生も、毎年のように報告されています。

予防方法は?

正しい手洗いを習慣にしておくことが大切です。特に、患者の便や嘔吐物を処理する時は、適切に行いましょう。



消毒には次亜塩素酸ナトリウムを使います。

また、食品の調理では中心部まで十分に加熱(85~90℃で90秒以上)しましょう。

なお、ワクチンはありません。

